

2021年10月8日

セントラルケンタッキー日本人補習校理事会
理事長 伊東 博史

セントラルケンタッキー日本人補習校 対面授業中止経緯と再開について

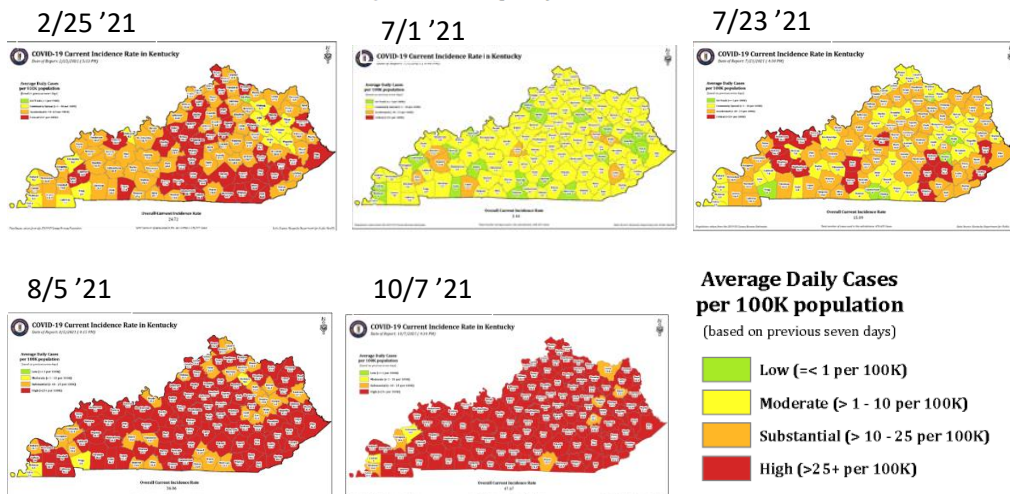
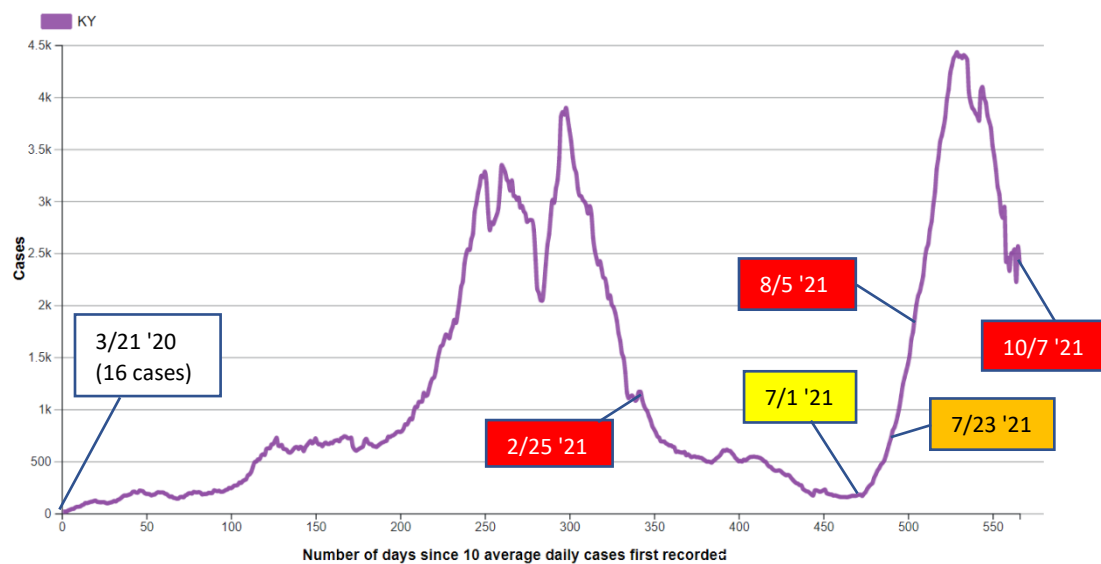
平素より補習校運営にご協力賜りありがとうございます。

補習校では COVID-19 の悪化を受けてせっかく再開した対面授業を 8/14～再度リモート授業に戻しました。今後いつ再開するのか、再開後も安全に授業ができるのか、という疑問をお持ちの方も多くいらっしゃると思います。簡単ですが対面授業を中断した経緯と今後の再開に向けたステップについてご説明させていただきます。

1. 対面授業中断の経緯

New cases of Covid-19, reported to CDC, in KY

Seven-day moving average of new cases, by number of days since 10 average daily cases first recorded.



補習校では 2020 年 3 月の KY 州での COVID-19 発生を機に卒業式・入学式も中止してリモートを活用した授業に切り替えて参りましたが、州内の感染者数減少を踏まえ 2021 年 7 月より午前中の対面授業の再開を判断致しました。しかしながら再開直後新たな COVID-19 の波が現れ、8 月 5 日には学校がある Fayette 郡でも人口 100 万人当たりの発生率が 25(上記地図の赤色)を超えてしまい、2020 年度ならリモート授業に移行すべき基準を上回る感染状況になってしまいました。これを受けて児童生徒並びに先生方へのクラスター発生を抑制するべく急遽理事会を開催して 8 月 14 日の授業からリモート授業への移行を決定致しました。これに関しては急な決定で皆様にご苦勞をお掛けすることになり申し訳ありませんでした。

2. 対面授業再開に向けて

2021 年度の KY 州の学校は、学力低下の防止並びに保護者の就業環境を整えるため原則として対面授業を継続する方針を取っています。一方で補習校に関しては、①様々な地域から集まってくる児童生徒並びに送迎の保護者への感染リスクを抑える、②学校関係者への感染リスクを最小限にする などの観点から安全確保を最優先課題としてリモート授業を行っております。しかしながら日々現地校に通う児童生徒にとって、補習校で対面授業を通じて得られることの意味や価値は大きい、という認識の下、条件が整えば対面授業に移行することを理事会にて引き続き検討しています。

再開に当たっては以下のステップで進めようとしております。

1. CDC 並びに KY 州公共衛生部(KDPH)の安全基準を満たした条件で授業が再開できること、KY 州の COVID-19 発生状況が落ち着いていること(Fayette 郡の発生率が 100 万人中 10 人以下になっていること=上記の地図で黄色もしくは緑色になっていること)を確認する
2. 感染拡大抑止のため登校時の検温スクリーニングなどの体制を整える
3. 1・2の体制が整い対面授業を再開することを児童生徒と保護者、先生方にご説明を行う
4. 午前中のみ対面授業を再開し、状況をみながら午後までの通常授業に戻す

11 歳以下のワクチン接種が認められておらず、全員のワクチン接種を強制することはできない以上、感染リスクを下げていく学校全体での取組みが求められています。こうした中で、できるだけ多くの方のご理解のもとに授業再開を図りたいと考えております。また再開に当たっては各家庭での児童生徒の体調確認など、保護者の方のご協力が不可欠です。学校再開に向けて理事会として引き続き議論を重ね、ご理解を賜れるよう継続的に状況のご報告をさせて頂こうと考えております。

引き続き関係各位のご理解ご協力を重ねてお願い申し上げます。